

心豊かな青少年を育む

入場無料

県民のつどい in 大田原市

大田原市青少年健全育成市民大会

しみず ひろ やす

清水 宏保氏 [長野オリンピック金メダリスト
元スピードスケート選手] **講演**

「ハンディを乗り越えての金メダル」

2019年

日時 **6月22日 土** 13:30~16:30
(開場13:00)

会場 **那須野が原ハーモニーホール**

大田原市本町1-2703-6 TEL0287-24-0880

第1部
13:30~14:10

●開会行事
●大田原市青少年健全育成市民大会最優秀賞受賞者作文発表

第2部
14:20~14:50

栃木県立大田原女子高等学校 ダンス部
舞台発表

第3部
15:00~16:30

講演「ハンディを乗り越えての金メダル」
長野オリンピック金メダリスト
元スピードスケート選手 **清水 宏保氏**

展示
ロビー

●とちぎの元気な子ども育て隊!!宣言活動事例展示
●栃木県青少年育成県民会議事業関連の紹介
●大田原市の紹介

主催 栃木県、栃木県教育委員会、栃木県警察本部、
栃木県青少年育成県民会議((公財)とちぎ未来づくり財団)
大田原市、大田原市教育委員会

後援 人はみな、
心を持って、
生きていく。 “社会を明るくする運動”栃木県推進委員会、
(一社)栃木県子ども会連合会、栃木県PTA連合会、
栃木県青少年指導センター連絡協議会、栃木県青少年指導員会連絡協議会、
栃木県青少年育成指導員会、栃木県青少年育成アドバイザー会、
栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会、栃木県更生保護女性連盟、
栃木県地域婦人連絡協議会、栃木子どもの本連絡会、栃木県保護司会連合会

問い合わせ 栃木県青少年育成県民会議((公財)とちぎ未来づくり財団青少年育成課)
宇都宮市本町1番8号 栃木県総合文化センター内 TEL 028-643-1005 URL <http://www.tmf.or.jp/>



明日の“とちぎ”を担う青少年が、夢と希望を持って心豊かでたくましく成長できるよう、 家庭、学校、職場、地域などが相互に連携・協力を図りながら、 県民総ぐるみで青少年の健全育成を推進していきましょう。

「大田原市青少年健全育成市民大会」とは

「大田原市青少年健全育成市民大会」は、次世代を担う青少年が健やかに育つことを願い、毎年開催されています。市内小中学校のPTAをはじめ、青少年健全育成にかかわる市内の関係団体の方々が一堂に会します。

青少年健全育成にかかわるテーマについて、小中学生から作文と標語を募集し、優秀な作品を一般に周知（※作文は大会当日発表、標語はポスターにして関係施設に配布）し、健全育成に対する意識の高揚を図っています。また、講演会では「現在の青少年問題」を考えるのにふさわしい講師をお招きし、様々な発見や感動を共有し学びを深めています。

栃木県立大田原女子高等学校 ダンス部

私たち大田原女子高等学校ダンス部は、県ダンスコンクール創作コンクール部門で優勝することを目標に、日々基礎練習や作品づくりに励んでいます。また、『なでしこ祭』や『送別と感謝の会』そして校外でのイベントでは、みなさんに楽しんでもらえるダンスをコンセプトに、ジャズダンスやヒップホップ等様々なジャンルに挑戦しています。

今回も、ご来場の皆様に元気なパワーを届けられるように全力で踊ります。



元スピードスケート選手 清水 宏保 氏（スポーツキャスター）

◆1974年2月27日生まれ

◆職歴・経歴：

3歳からスケートを始める。

93年18歳でW-cupに初出場初優勝という快挙を成し遂げ世界のトップスケーターとして注目を受けた。

以来長年に渡り、世界のスピードスケート短距離界の第一人者として活躍。

幼少の頃より気管支喘息を患っているが、喘息と向き合いながらトップアスリートとして活躍し、五輪出場、金メダル獲得まで果たした。長野オリンピック500メートル・金メダル、1000メートル・銅メダル、ソルトレークシティオリンピック500メートル・銀メダルを獲得した活躍は、日本中に興奮と感動を与えた。

2010年3月をもって現役引退。

引退後、喘息の啓蒙活動、講演会・イベントへの出演、執筆活動等、文化人として幅広く活躍中。

また、2013年7月に北海道札幌市に治療院を開院、2014年11月にはリハビリ型デイサービス、リハビリ型訪問看護施設も開院、スポーツ選手のセカンドキャリアとしての活動も積極的に取り組んでいる。



とちぎの子ども育成憲章

明日を担う子どもたちが 夢と希望を持ち 心豊かでたくましく成長することは 県民すべての願いです
わたしたちは 子育てに積極的にかわり 子どもたちをみんなで育てていく決意を込め ここに憲章を制定します
わたしたちは

- 一、子どもたち一人ひとりを尊重し 命を大切にします
- 一、子どもたちとのかかわりを深め 思いやりの心をはぐくみます
- 一、子どもたちとともに 学び 喜び 励ましあい 社会の一員としての自覚を育てます
- 一、一人ひとりが子どもたちの手本となるよう行動します
- 一、とちぎの豊かな自然 伝統 文化を守り 子どもたちに引き継ぎます

平成22年2月9日 栃木県

とちぎの子ども
育成憲章とは

子どもたちを育成していく上での基本となり、また、大人の責任と自覚を促し、一人ひとりが実行していくための基本理念や行動指針として、平成22年2月に制定しました。
この憲章は、命を大切にし、思いやりの心と社会の一員としての自覚を持った人に成長してほしいという、子どもたちに対する大人からのメッセージでもあります。